

## 【考察】R4 後期

### <生徒アンケート結果より>

#### ○ほとんどの生徒が、規律ある学校生活を送っている

- ・どの項目も肯定的意見が多い。
- ・特に学校の決まりや社会のルールはきちんとできている割合が9割7分を超えており、ほとんどの生徒が規律ある学校生活を送っていると感じている。
- ・学び・心みがき・絆づくりの小中共通項目も肯定的意見が9割を超えている。小中交流(進学説明会・母校訪問等)で、生徒が小学生に小中を通して意識してほしいことを説明する姿が見られた。

#### ▲ウイズ・コロナでの自身のあり方・地域貢献のあり方を考える必要がある

- ・⑥将来の具体的な夢や目標を全く持っていない生徒が11%いる。
- ・ほとんどの項目では肯定的意見が9割を超えているのに対して、⑪「地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか」の項目の肯定的意見が他に比べて少なく、前期より約10%も減少している。
- ・学校生活や地域の清掃活動などに積極的に参加する生徒とそうでない生徒との差を埋めていく方策を考える必要がある。

### <保護者アンケート結果より>

#### ○規範意識や思いやりのある言動が、生徒に定着している

- ・ほとんど項目で肯定的意見が多い。
- ・特に、前期アンケートで肯定的意見が9割を超えていた⑪「友だちに対して思いやりのある言動がとれている」、⑫「学校のきまりや社会のルールを守っている」の項目は、さらに肯定的意見が増えている。
- ・④「家庭でタブレットを利用して学習していますか」の項目で、肯定的意見が4割弱と他の項目に比べて著しく低かったが、後期は家庭での利用も増えてきた。

#### ▲家庭に実態が理解されていない

- ・⑩「お子さんは、地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか」の項目で肯定的意見が減っている。前期より参加する機会は増えているので、生徒や保護者に対する周知が徹底していなかったかもしれない。今後は学校だよりや学校HPだけでなく、地域のふれあいセンター等にも掲示をお願いして広く知らせることに努めたい。
- ・自由記述で、靴の色や体操服の記名についての意見があったので、検討していきたい。

### <教職員アンケート結果より>

#### ○振り返りでの自己評価・授業評価を行っている

- ・⑥「振り返りにおいて、自己評価と授業評価を行っている」で全員が肯定的意見としているが、授業評価の項目や方法等、工夫改善する必要がある。
- ・⑦「生徒が将来の夢や志を語るができるよう、キャリア教育等で指導している」での肯定的意見が前期は7割だったが9割に増えた。
- ・⑯「働き方改革」に自ら進んで取り組んでいる教職員の方が増えてきた。
- ・桃山中学校区9年間の共通理解事項⑰・⑱・⑲の指導は浸透している。

#### ▲生徒・保護者と意識のギャップがある

- ・⑦で「生徒が将来の夢や志を語るができるよう、キャリア教育等で指導している」にもかかわらず、上記のように、将来の具体的な夢や目標を全くもっていない生徒が1割いるという現実を見つめ、今後の指導方法を見直すことが大切である。
- ・⑯「働き方改革」に自ら進んで取り組んでいる教職員の方は増えてきたが、まだ改善の余地は大いにある。